

令和3年度国立大学法人福島大学の決算等について（概要）

．はじめに

福島大学の令和3年度決算については、第116回経営協議会(令和4年6月7日)及び第601回役員会(令和4年6月7日)の審議を経て、財務諸表及び決算報告書等を文部科学省に提出し、令和4年6月22日に承認されました。

ここでは「貸借対照表」と「損益計算書」の概要を紹介します。

(以下、金額、割合とも、端数処理は単位未満切捨てとしています。)

．貸借対照表

(1) 資産の部

固定資産の「建物」については、音楽棟耐震改修工事、ライフライン再生(給水設備)工事等による増(約2億円)がありましたが、減価償却の累計がそれ以上に増加したことにより、資産としては約4億8千万円減少しました。また、「投資その他の資産」が、1億円減少していますが、これは、5年運用の福島県公募公債の満期が令和4年度中に到来するため、「流動資産」の「有価証券」に振り替えたためです。なお、無形固定資産のほとんどが特許権、特許権仮勘定及びソフトウェアです。

(単位：千円)

科 目	前年度(令和2年度)	当年度(令和3年度)	増 減 額
資産	35,592,566	35,461,912	130,654
固定資産	33,183,024	32,822,874	360,150
土地	18,180,568	18,180,568	0
建物	10,248,282	9,765,081	483,201
構築物	561,262	611,754	50,492
機械装置	1,787	1,368	419
工具器具備品	660,090	747,504	87,414
図書	3,216,330	3,235,246	18,916
其他有形固定資産	37,967	37,967	0
建設仮勘定	151,197	221,309	70,112
無形固定資産	20,003	16,538	3,465
投資その他の資産	105,535	5,535	100,000
流動資産	2,409,542	2,639,037	229,495
現金及び預金	2,186,648	2,296,208	109,560
未収学生納付金収入	47,192	43,138	4,054

たな卸資産	2,033	2,864	831
未収入金	173,663	196,826	23,163
有価証券		100,000	100,000
その他の流動資産	4		4

(2) 負債の部

固定負債の「資産見返負債」は、授業料等で購入した資産の減価償却後の残存価額です。「長期未払金」は、超高速食品機能成分質量イメージング装置の賃貸借（リース）に係る長期リース債務です。

流動負債では、「運営費交付金債務」が、約1億4千万円減少しており、残高がゼロとなっていますが、これは、令和3年度が中期目標期間最終年度のため、運営費交付金債務の残高を全額収益化し精算したためです。また、「預り補助金等」で約4千2百万円、「寄附金債務」で約2千3百万円増加していますが、これは、補助金や寄附金の執行残（繰越）によるものです。また、「未払金等」で約5千万円減少していますが、これは、短期リース債務が減少したためです。短期リース債務とは、固定負債の長期未払金にも計上されている超高速食品機能成分質量イメージング装置等の賃貸借による令和4年度中に支払う予定の元本の額になります。

資産見返負債

運営費交付金、授業料、補助金、寄附金等により償却資産を取得した場合に計上される負債で、業務の進行に応じて収益化を行うために、固定資産の取得価額相当額の運営費交付金債務等を一旦取り崩してプールしておく勘定。毎事業年度、減価償却相当額を取り崩して収益に振り替える。

(単位：千円)

科 目	前年度(令和2年度)	当年度(令和3年度)	増 減 額
負債	7,724,007	7,665,710	58,297
固定負債	5,914,235	5,965,226	50,991
資産見返負債	5,875,639	5,953,749	78,110
長期未払金	38,595	11,476	27,119
流動負債	1,809,772	1,700,484	109,288
運営費交付金債務	138,369		138,369
預り補助金等	3,449	45,045	41,596
寄附金債務	628,995	651,838	22,843
前受金	106,871	109,075	2,204
預り金等	146,171	158,874	12,703
未払金等	785,914	735,650	50,264

(3) 純資産の部

国の資金による施設整備費補助金を財源とした建物等の資産の減価償却費の増により、資本剰余金が約2億9千万円減少しました。施設等の整備については、計画的に行ってはいませんが、それ以上に減価償却費が増加しており、施設等の固定資産が古くなってきている状況を表しています。

(単位：千円)

科 目	前年度(令和2年度)	当年度(令和3年度)	増 減 額
純資産	27,868,558	27,796,201	72,357
資本金	26,996,452	26,996,452	0
資本剰余金	110,305	396,315	286,010
利益剰余金	982,411	1,196,064	213,653
積立金	605,481	778,121	172,640
当期末処分利益	376,929	417,942	41,013

・損益計算書

(1) 経常費用

経常費用のうち主なものは次のとおりです。

(単位：千円)

科 目	前 年 度 (令和2年度)		当 年 度 (令和3年度)		増減額	備 考
経常費用	7,203,460	100%	7,412,133	100%	208,673	
教員人件費	3,609,531	50.1%	3,545,954	47.8%	63,577	退職手当の減
職員人件費	1,216,987	16.9%	1,153,738	15.6%	63,249	退職手当の減
教育経費	1,007,952	14.0%	1,068,263	14.4%	60,311	修繕費等の増
研究経費	554,734	7.7%	696,347	9.4%	141,613	消耗品費等の増
教育研究支援経費	121,674	1.7%	142,805	1.9%	21,131	修繕費等の増
一般管理費	281,823	3.9%	337,305	4.6%	55,482	修繕費等の増

教育経費等

教育経費の増額の主な要因は、音楽棟耐震改修工事に伴う修繕費の増等によるものです。

研究経費の減額の主な要因は、福島県沖地震による破損機器修理等による雑役務費の増や食農学類関係補助金の執行による消耗品費の増等によるものです。

人件費

業務費のうち最も大きな比率を占めるのが、教職員人件費約4.7億円で、経常費用の63.4%を占めています。

教員人件費は、約3.5億円で、前年度比約6千4百万円の減、職員人件費は、約1.2億円で、前年度比約6千3百万円の減となっています。教員人件費と職員人件費の減額の主な要因は、退職手当支給額の減によるものです。

(2) 経常収益

経常収益のうち主なものは次のとおりです。

(単位：千円)

科 目	前 年 度 (令和2年度)	当 年 度 (令和3年度)	増 減 額	備 考
経常収益	7,518,333	7,570,289	51,956	
運営費交付金収益	3,547,244	3,478,663	68,581	退職手当の減
授業料収益	2,213,856	2,214,688	832	
入学金収益	319,322	317,353	1,969	入学者数の減
検定料収益	72,221	65,229	6,992	志願者数の減
受託研究収益	243,724	276,052	32,328	
共同研究収益	44,918	60,120	15,202	
受託事業等収益	107,897	117,881	9,984	
補助金等収益	347,676	350,880	3,204	
寄附金収益	151,195	105,525	45,670	
施設費収益	30,174	132,298	102,124	改修工事に伴う費用の増
資産見返負債戻入	285,863	310,711	24,848	
雑益	154,231	140,875	13,356	

運営費交付金収益等

運営費交付金収益は約3.5億円であり、対前年度比では約6千9百万円の減となりました。主な要因は、退職手当の減によるものです。

施設費収益が、音楽棟耐震改修工事、ライフライン再生（給水設備）工事等により、約1億円増加しています。

受託研究等受入額

(単位：千円)

科 目	前 年 度 (令和2年度)		当 年 度 (令和3年度)		増 減 額	
受託研究	302,882	41件	273,532	46件	29,350	5件
共同研究	54,352	26件	67,324	28件	12,972	2件
受託事業等	108,912	30件	115,358	31件	6,446	1件
奨学寄附金	140,363	1,298件	120,198	977件	20,165	321件
合計	606,509	1,395件	576,412	1,082件	30,097	313件

(3) 経常利益 (単位：千円)

科目	前年度 (令和2年度)	当年度 (令和3年度)	増減額
経常収益	7,518,333	7,570,289	51,956
経常費用	7,203,460	7,412,133	208,673
経常利益	314,873	158,156	156,717

(4) 臨時損失及び臨時利益 (単位：千円)

科目	前年度 (令和2年度)	当年度 (令和3年度)	増減額
臨時損失	1,167	2,140	973
臨時利益	999	144,666	143,667

臨時利益が約1億4千万円増加していますが、これは、令和3年度が中期目標期間最終年度のため、運営費交付金債務の残高を全額収益化し、臨時利益に計上したためです。

(5) 当期純利益等 (単位：千円)

科目	前年度 (令和2年度)	当年度 (令和3年度)	増減額
当期純利益(当期末処分利益)	376,929	417,942	41,013

令和3年度は、前年度に続き未処分利益を計上しました。

主な要因は、外部資金間接経費収入の増及び光熱水費の節減等によるものです。